

第6章 大綱・基本方針

1 特別史跡の保存・活用の基本理念

廉塾ならびに菅茶山旧宅は、江戸時代の18世紀末に菅茶山が備後国神辺宿に開いた私塾であり、後に福山藩の郷校（神辺学問所）となった当時の各種建造物等が一体的に現存し、その時代の教育環境を現在に伝える全国唯一の施設である。

この特別史跡を確実に保存し、有効に活用していくためには、本質的価値や現状と課題を踏まえ、計画的な管理や整備を進める必要がある。また、地域住民をはじめとする市民、各種団体等の参加・連携、そして協働のもとに、教育文化、観光、まちづくり、地域活性化に活かして行く仕組・取組が重要になる。

このため、様々な主体・市民等が共有する、特別史跡の保存・活用の基本理念を次のように設定する。

【特別史跡の保存・活用の基本理念】
江戸時代の教育・学問・文芸のあり方を今に伝える
我が国文化の象徴(特別史跡)としての価値と魅力を引き出し、
行政・市民・地域で守り、活かす

2 特別史跡の保存・活用の基本方針

特別史跡の保存・活用の取組を具体化するため、本質的価値や現状と課題を踏まえ、基本方針を次のように設定する。

【特別史跡の保存・活用の基本方針】

<保存（保存管理）>

調査・研究

○廉塾ならびに菅茶山旧宅に関する調査・研究（発掘調査，史資料調査など）を持続的に行い，その成果を適切に公開・活用する。

保存管理

○建造物や樹木等の状況を把握・確認しながら，廉塾ならびに菅茶山旧宅の保存（保存管理）に取り組む。

○老朽化，き損している建造物（特に建物）については，優先順位を検討し，計画的に保存修理等を進める。

<活用>

○市民・地域活動団体等と連携しながら，廉塾ならびに菅茶山旧宅（周辺の文化財等の活用を含む）の活用を進め，教育文化の振興や観光交流の促進などに資するとともに，地域の魅力づくり，まちづくりにつなげる。

○廉塾ならびに菅茶山旧宅とそのガイダンス機能を有する菅茶山記念館，更には広島県立歴史博物館などとのネットワークを充実・強化し，一体的な利用を促進する。

<整備>

○廉塾ならびに菅茶山旧宅の活用（利用）を円滑・快適にするため，周辺を含めて休憩施設，管理施設，駐車場などのあり方や景観を検討し，それを踏まえて計画的に施設・設備の整備を進める。

<管理・体制>

○廉塾ならびに菅茶山旧宅の管理・運営体制を充実・強化する。

○廉塾ならびに菅茶山旧宅を含め，文化財に関わる情報の提供・発信，文化財を活かした体験・交流活動などを進める。

○廉塾ならびに菅茶山旧宅の保存・活用において，地域住民をはじめとした市民の協力・参加，そして協働の取組を進めるとともに，市域外の人々・団体等を含めた協力体制や人的ネットワークづくりに努める。